

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている				
		商店街（代表者）	お客様の様子	・販売量も少し増えている。客の反応の中で、今まで消費を我慢してきたところがあるのかという感じがする。ただしそれがどこまで長続きするかはわからない。	
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街のことでいうと、クレジットの組合ではマイナス5%と客単価が下がっているが客数は増えている。今後その客数が増える情勢は変わらない。	
		一般小売店〔靴〕（経営者）	単価の動き	・3か月前よりわずかながら単価も上昇し、客数も若干増えている。自分の店だけでなく街全体がそのように感じられる。	
		一般小売店〔印章〕（営業担当）	来客数の動き	・3月から4月は異動時期また入学時期にあたるが、昨年度と比べても全般的に売上が良くなっている。	
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・九州の地震の度に公共交通機関がストップし客の足を止めているので今月はかなり客数は減少している。しかし気温が安定して春物から初夏ものが順調に動いていて、特にヤングでは徐々に売れ筋が出てターコイズブルーを使ったきれいな色やレースをあしらったかわいいキャミソールやドレスが好調である。	
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・人気の物産催事により、全館にシャワー効果が生まれている。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・4月に入り気温が上昇し、夏型の商品が一気に動き出し、前月比の1.2倍位の推移で動いている。夏型の商品にのみ引っ張られて店の売上も1.1倍で推移している。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、売上は1.0%のアップとなっており、前年比をクリアしている。特に客数が2.0%のアップ、絶対数で見ると約46人の増、単価は0.5%下がっているもののほぼ100%となっているなど、客数・売上で見るとやや良くなってきている。	
		家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・単価は下落傾向にあるが、客数が増加し、一人当たりの買上点数も増えてきている。	
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・タイヤの冬から夏への履き替えが3月から4月へずれ込み、この需要が他の売上にも好影響を与えている。またナビゲーション等の高額商品の動きも引き続き好調に推移している。	
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・これから旅行に良いシーズンを迎え、また3か月前に比べると単価と販売量が増えている。	
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・歓迎会が受注が前年より好調で、宴会場の稼働が良かった。宿泊も修学旅行が増え良くなった。	
		通信会社（総務担当）	競争相手の様子	・ブロードバンド化に向け、競合他社の販売も緩やかではあるが延びているように思われる。ただし、価格競争の中でのシェアの奪い合い的な要素も含まれていることから、実質的な延びは明確でない。	
		住宅販売会社（経理担当）	販売量の動き	・既存物件の販売を続けている。ただし新規物件が無いので全体の契約数は伸び悩んでいて、これまで値引きをしなかった物件でも値引きを始めているが、今月の目標数値の達成は難しくなっている。	
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・近くの美術館で大きな催し物があるが、客の立ち寄り方の様子が変わらない。
			一般小売店〔100円商品〕（店員）	販売量の動き	・販売量は先月よりは上回っているが、単価とか客の様子は変わっていない。景気がいいのか、4月と言う時節柄でよく売れているのか分からない。
			百貨店（営業担当）	販売量の動き	・プレステージゾーンの婦人服は好調に推移しているが、ボリュームゾーンのセーター、カジュアル等の単品は、近くのデパートの閉店セール、気温の変化等大きく影響を受け、売上を落している。
			百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・紳士婦人のファッション部門では、単品で購買する傾向が強まっており、結果的に客単価ダウンの傾向になっている。

百貨店（売場担当）	お客様の様子	・春から夏への切り替わりの月であり、顧客が気温の状況を見ながら商品を選んでいる。昨年この月によく売っていたパラソルも夏素材も動きが悪い。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・定番的なサンダルの売行きが例年に比べ非常に悪く、そのためトレンド商品の動きもサンダルに限っては調子が良くない。例年からはいくと若干落ちる。
スーパー（店長）	来客数の動き	・前月までは客数は前年を上回っていたが、前月の後半から今月にかけて客数が前年をクリアしなくなった。その原因の一つとして、客の価格による買い回りがより顕著に見られることがあげられる。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価も変わらないが、一人当たりの買上げ点数も伸び悩んでいる。競合店を客が買いまわりをしていて、非常に厳しい状況が続いている。
スーパー（店長）	単価の動き	・客の来店頻度は増加しているが、一品単価の下落に歯止めがかからない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客数は前年をクリアしているが、客単価がこの1年95%前後で推移している。今月は固定資産税、来月は車の税金等があるので、まだ食に関しては厳しい状況が続く。
スーパー（店長）	単価の動き	・前年客数対比では、変わりがないが客単価が3か月前と比べても前年客単価が下がっている。回復する兆しが見えてこない。
スーパー（店舗運営担当）	単価の動き	・来店客数、客の買上点数ともほぼ前年同月の100%で推移している。ただ商品一品当たりの単価が伸び悩んでいるのでグロスではそのぶんだけ厳しい。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・客は安いものを買う感じがある。広告の商品目当てにあちこちを転々としている。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・低価格な第三のビールといわれる商品が発売されたが、客は価格に敏感で、ビール、発泡酒からその低価格商品にシフトする動きが目立った。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・国体需要が思ったほど効果がなく、来店客数増に繋がっていない。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・4月の春の立ち上りにしては、中価格層から低価格層の客が多くなっている現状から、高額品の需要が少ないと判断する。
衣料品専門店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は昨年と比べて売上は伸びているが客数が若干落ちており、客単価が上がっている状況である。内容は男性の動きが良く、シャツ、Tシャツが好調である。レディースの動きが悪い。
家電量販店（店長）	それ以外	・例年春には入進学、就職ならびに転勤とそれに伴うある程度の需要があったが、最近では引っ越し業者がトータル的に行なっているため皆無の状態に陥っている。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・3月の決算が終わって一段落の感じを受けている。しかし来場数は若干増えているように感じるのこれから先が我々としては楽しみだが、現状ではあまり変わらない。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・1～3月は需要月で販売台数は増大するが、4月はその反動も有り、毎年販売量は減少する。今年の状況は、昨年より商談件数も少なく、依然厳しい状況である。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・予約の客もあまり多くないが、特に予約なしのフリーの来店が減っている。
一般レストラン（店長）	単価の動き	・3か月前に比べて来客数が変わらない。客単価もほとんど変わらない。客の様子もそれほど変化があるとは思われない。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前の消費の冷え込みがいつものより厳しく感じる。2割ダウンの店舗まで出ている。
観光型ホテル（経理総務担当）	来客数の動き	・モニタープランの価格を高め設定したため、宿泊客の減少が続いている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・当月は飲料部門については、プライダルが前年同月を若干上回っているが、宿泊部門で稼働率対前年1.5ポイント減で収入トータルで前年を下回っている。これはここ数ヶ月同じような状況である。

	都市型ホテル (従業員)	来客数の動き	・春休みが明けてレストランの客足が落ちてきた。カルチャーセンターの閉店等も影響し喫茶も苦戦しており、前年収入確保が厳しくなっている。
	都市型ホテル (総務担当)	販売量の動き	・前年比マイナス基調に変化なく、景気は変わらない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月になって、急に乗客から景気が悪いという声が聞かれる。タクシーも4月の前半は昨年よりは悪かったが随分回復し今現在、やや悪くなっている状況である。
	タクシー運転手	販売量の動き	・3か月位前から現在に至るまで毎日の売上のよし悪しはあるが、1か月トータルしてみるとあまり変わりがない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・4月の前半は少し動きがあったが、中旬に入っては例年のように動きが悪くなった。
	通信会社(経営者)	お客様の様子	・加入契約数がここ数ヶ月の実績から低下したままであり、かつ解約も増加しており、純増加数が低迷したままで、さらに減少も見られる。
	通信会社(販売企画担当)	販売量の動き	・販売数は横ばいである。来店者数は減少の傾向にある。
	テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・入園者数に関しては、前年比でも少し落ち込んでいるが、消費単価に関しては、ほぼ昨年並みに推移している。
	ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・割引券等によって単価も少し下げたが、あまり効果は上がらなかった。かなりまだ厳しい状態である。
	美容室(経営者)	競争相手の様子	・同業者の競争相手の情報を聞いても、年々店舗も増えてきて、客数もだんだん減ってきて最近あまり良くない。
	設計事務所(経営者)	販売量の動き	・建築業界はあいも変わらず低迷しつつある。絶対販売量、物件数も少なく低額なものが多くなかでのぎを削っている状態で、これが上向き方向性はなかなか見受けられない。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・来場数が、今年に入り毎月0.5%ずつ減少傾向がつづいており、悪くなっているのは変わっていない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・松江市の場合中心市街地おしなべて悪いが、なかでも今年に入ってからには特にいいという声を全然聞かない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・近くに大規模店ができたせいか、とにかく商店街に人がこない。
	一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・商工会所の会議に出てきたが、全体的に非常に景気が良くない。どこも物が動かなくて大変だといわれている。わが社も去年と比べると前年比を割り始めているので不安である。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・店全体の売上が前年比の82%との話もある。ものの売上が悪く去年、一昨年が75%になったにもかかわらず今年については82%という形でだんだんと落ちている状況である。
	スーパー(総務担当)	販売量の動き	・単価は下落しているのに一人当たりの買上点数が伸びない。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・量販店の内容がが少しずつ悪くなっている。チェーン別の格差はあるが、単価の崩れではなく他メーカーの参入があるためである。コンビニについては若干の開店もあるので、順調に前年は確保しているが、今月は少しずつ悪くなる中で前年を若干割り込むという悪い状況である。
	衣料品専門店 (経営者)	競争相手の様子	・商店街の同業者やメーカーの話などでは、天候は春らしくなっているのに、例年になく厳しい。
	衣料品専門店 (地域ブロック長)	来客数の動き	・先月が好調で前倒しになっているのか集客が少ない。気温の低下の日がありスプリング・サマースーツ、フォーマルが動かない。チラシ効果も薄く、チラシ商品も残る。
	家電量販店(店長)	来客数の動き	・今月はパソコンの入れ替え時期にあたる。季節的にはエアコンは少し早い時期であたり、大型テレビもやや落ちつき気味で全体的に低調であった。

	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・1、2月は新型車の好影響も続き前年比150%と好調であったが、今月は新車効果も薄くなり前年比110%と前年を多少上回る程度の厳しい状態になっている。	
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・新車の動きも新型車の動きも悪く、改善の傾向がでていないために、今しばらく逆に悪くなると感じている。	
	住関連専門店 (広告企画担当)	来客数の動き	・納期的にギリギリのお客様が多く、また、準備期間が過ぎてしまってもさほど気にしない。客がちょっとずつ、価格の低いものを探しているから、決めるのが遅くなる傾向がある。	
	住関連専門店 (営業担当)	競争相手の様子	・道の対面に競合店が出店してきて、客数が約10%位落ち込んでいる。それに伴い客の動向も売上と同時に買い渋りの傾向があり、全体的にはあまりいい状況ではない。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・ちょうど年度末で、人事の入れ替えの時期だが、昔のように歓送迎会がほとんど一次会で済んでしまい、二次会、三次会に行かない時代になってきている。	
	その他飲食[ハンバーガー] (経営者)	単価の動き	・価格を下げたこともあり客数は伸びているが、客単価が落ち込み、売上増にまだ繋がっていない。	
	通信会社(社員)	販売量の動き	・3か月前と比べて販売量、来客数ともに悪くなっている。	
	美容室(経営者)	単価の動き	・景気が少し上向きになっていると市場ではいわれているが、まだ高単価のものの商品が全く動かない。	
	設計事務所(経営者)	販売量の動き	・販売量の低下と受注単価の下落が大きくなっているようだ	
悪くなっている	商店街(代表者)	単価の動き	・ピーク時の3割から4割は客の感じる価格が下がっている。デフレ傾向がまだまだ続いていて、以前2000円で購入した商品が、客にとっては今は1400円位が妥当とするような感覚である。大変な事態である。	
	その他専門店[時計](経営者)	お客様の様子	・隣で日曜日ごとに朝市が開催される100円の試食コーナーがある時は来場者数が多い、コーナーがない時は少ないが、以前と比較してその差が大きくなった。とにかくなかなか買い物をしなくなった。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年と比べるとほとんど安い居酒屋で済ませ、タクシー利用が少なくなっている。特に歓送迎会等は一次会で終わるところが多く、飲食店あたりは期待はずれであった。	
企業動向関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・4月単月で見ると、異例に多い受注販売量である。
	やや良く なっている	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく安定しており、全般に高稼働率である。物流費・原燃料費高等の影響を受けながらも好景気の影響で、利益が上がってきている。
		建設業(営業担当)	取引先の様子	・一部製造業及びサービス業において、本社建物建て替え、支店の建物建設投資等の動きが出てきた。
		金融業(業界情報担当)	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中。樹脂原料価格の上昇などコストアップから利益率は伸び悩んでいるが、受注拡大により増益は確保している。
	不動産業(経営者)	取引先の様子	・賃貸に関しては割合に増えつつある傾向である。なぜならば各企業、顧客からの申し込み量が多少増えつつあるように見受けられる。	
変わらない	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・原油高による、海上運賃・トラック運賃等の物流費アップが現実となってきた。	
	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大型案件製造完了後、新規引合が少なく生産量も低水準である。例年連休対策の飛び込み注文があるが、本年はその出足も遅い。ただ積極的営業展開で新規客先の商談はある。	
	金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は依然として高水準にあり、工場もフル操業である。この状況は過去3ヶ月同様である。	
	一般機械器具製造業(経営企画担当)	それ以外	・自社製品の売上は引き続き好調に推移しているものの、原材料の高騰に伴い生産コストが懸念される。	

	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連が好調で国内、欧米等海外とも受注拡大し向こう3ヶ月フル操業の状況となっているが、材料の支給が遅延ぎみでとても造りきれない。材料メーカーも同様の状況と聞いている。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず売上不振が続いている。多少好調な企業は一時金等で対応しており、今まで下げられていた賃金ベースは以前として低調なままである。したがって消費動向がアップするところまではいっていない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不動産は全く、建設も相変わらず悪い。事業の一つである産廃事業のみは順調であるが、地域全体にとってみれば悪いまま推移しているという状況である。	
	建設業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・今月の受注は前年同月と比べると約80%減という非常に悪い結果となっている。しかし、現在までの累計でみると、前年同月で約10%増である。今年は前年に比べて発注を前倒ししている傾向があると共に、民間の受注が伸びてきている。	
	輸送業（統括）	それ以外	・今月の景気はゴールデンウィーク前で値動きは非常に多くなっている。しかし昨年と比べると同じ様な内容であるためあまり変わらない。	
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・企業向け通信サービスの受注単価や総額は相変わらず低下傾向にあり、新規のシステム構築より既存更改の割合が高いため、業界全体で収益維持に苦しむ状況は変わらない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・販売業は相変わらず不振が続いており、好転の兆しはまだ見えてこない。また、建設業も公共工事の予算削減が厳しく、完成工事高は前年割れを起こしているところが多い。反面、製造業は思いのほか好業績で、年度末の受注をこなさきれず、まだ納品が残っているところもある。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年の目標以上に売上を上げるといことで、売上を伸ばしているが、それに対する利益面で見越していないような受注発注が多くなっている。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はほぼ横ばいで推移しているが、購入資材の値上がりに加え取引先からの受注価格の引き下げ要求を受け現在値段の折衝中である。	
	金融業（営業担当）	それ以外	・仕事が無い状況が続いている。特に建設関係で鋼材等の値上りが響いていて、受注に手が出せない状況にある。ただマンション等の建築があるが、それは県外の業者が受注しており、地場の業者の苦しさは相変わらず続いている。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・1～3月と3か月前の10～12月を比較すると、水揚げ数量では1247tの減少、水揚げ金額でも31580千円の減少した。水揚げ数量の減少原因は中型まき網の減少である。また、水揚げ金額の減少原因は沖合い底引き網が減少したためである。	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（支店長）	採用者数の動き	・着実に期が変わるごとに採用者数が増えているように感じる。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	周辺企業の様子	・久しぶりに新卒の採用を復活する企業からの情報が目立った。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・某メーカーでは派遣社員の採用が出来ないことから自ら派遣会社を興し自社工場内でのワーカーを探している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・昨年度のこの時期に比べて1割程度求人情件数が増加している。
変わらない	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・通信業界が非常に厳しい状況で薄利多売になっている。競争も非常に悪化しているということで、ますます厳しい状況に客が陥ると言われた。	
	求人情報誌製作会社（支社長）	求人数の動き	・求人数からいうと引続き可も無くという状態で、広島はメーカー系が少し良くなっているが全体的に小売含めて消費が上向きになっていない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は微増で大きな変化はない。増加した業種は電機製造業、情報サービス業、運輸業だったが、その増加要因は特定企業からの大量求人によるものであったり、運輸業などでは繁忙期（引越）対応の臨時求人であったり、景気動向によるものではない。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月及び3か月前に比べて増加しているが依然として派遣、請負企業からの求人が目立っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月と比べて求人が25%以上増加しているが、その内容は、パート求人、派遣・請負求人、有期求人が主体であり、安定した雇用に結びついていない。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・3か月前と比較して新規求人数は増加しているものの、昨年度のこの時期と同じ傾向を示していること、及び有効求人倍率が変化していないことから変わらないと判断した。
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・上場企業からの総務部門の求人が正社員から派遣社員に変更になった。安定的な雇用者が増えない。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・就職未内定卒業者のその後の動向を調査するも、就職できた者の雇用形態をみると臨時や契約、嘱託といった不安定な身分の者が多く、企業が身を固くしている様子がうかがえる。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている			